

第738回 新潟医学会次第

第738回新潟医学会を下記の要領によって開催致しますので何卒多数ご来聴下さいますようお願い申し上げます。

日時 平成31年4月20日(土) 午後1時30分から
会場 新潟大学医学部 有壬記念館

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (午後1時30分～2時) 座長 吉村 宣彦 先生 (放射線部 准教授)

「魚沼基幹病院における循環器診療の実態と虚血性心疾患の診療」

笠井 督雄 先生

(魚沼地域医療教育センター 特任教授)

魚沼基幹病院は2018年4月より常勤が1名体制となり、診療内容の縮小を強いられました。循環器救急患者を受け入れられなくなり、心臓カテーテル検査、ペースメーカー手術等もできなくなりました。しかし社会的なニーズを鑑み、11月より心臓カテーテル検査、ペースメーカー植え込み術を再開いたしました。不整脈も専門医を招聘し、アブレーションも行うようになりました。本講演では当院の診療の実態と展望をお話いたします。

II. シンポジウム (午後2時～4時) 司会 外山 聡 先生 (薬剤部 教授)

「保険薬局との連携の現状と展望」

(シンポジスト)

1. 新潟県における保険薬局との連携の現状と課題 鈴木 直人 先生

(薬剤部 准教授)

2. 新潟大学医歯学総合病院における問い合わせ簡略化プロトコル

荒川 圭子 先生

(薬剤部 副薬剤部長)

3. 薬薬連携の将来展望～鹿児島県の事例を含めて～ 武田 泰生 先生

(鹿児島大学病院薬剤部 教授)

III. 特別講演 (午後4時～4時30分) 座長 内田 仁司 先生 (脳研・細胞病態学 助教)

「哺乳類生体脳でのゲノム編集技術の開発と応用」

三國 貴康 先生(脳研・細胞病態学 教授)

迅速かつ正確なゲノム編集は、様々な生命科学分野で有用な技術である。私は最近、SLENDR および vSLENDR という方法を開発し、哺乳類の生体脳で相同配向性修復による正確なゲノム編集を可能にした (*Cell*2016; *Neuron*2017)。これらの方法は神経科学分野の様々な研究に応用可能であり、例えば、脳組織の1細胞において内在性タンパク質をハイスループットにイメージングすることができる。

IV. 特別講演 (午後4時30分～5時) 座長 柿田 明美 先生 (脳研・病理学 教授)

「CUBIC:生体組織透明化による包括的3Dイメージング技術」

田井中 一貴 先生

(脳研・システム脳病態学 教授)

我々はこれまでに哺乳類組織を高度に透明化する試薬の開発に成功し、高速に3次元イメージングが可能でシート照明型蛍光顕微鏡を用いることで一細胞解像度の個体・臓器丸ごとイメージング技術を確立した。本発表では、マウスでの応用例に加えてヒト剖検組織の3Dイメージングに関する応用例についての最新の成果を報告する。

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大 学 院 特 別 講 義

大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎致します。参加料は無料、事前申込の必要はございません。自由に御参加下さい。

当日は医学部職員駐車場のゲートが開いておりますので、ご利用下さい。